

第 1 回 茨城町自転車活用推進協議会 議事概要

1 日 時 令和 2 年 1 1 月 2 7 日 (金) 午後 1 時 3 0 分から午後 3 時 4 5 分

2 場 所 茨城町庁舎 2 階大会議室

3 出席者

(1) 委員

No	所属名	役職名	氏 名	備 考
1	茨城大学人文社会科学部 現代社会学科	准教授	小 原 規 宏	
2	茨城県土木部道路維持課	道路保全強化 推進室長	石 川 昭	
3	茨城県水戸土木事務所	次長兼道路 整備第一課長	根 田 信 義	
4	茨城県県民生活環境部	スポーツ 推進課長	内 田 久 紀	
5	茨城県水戸警察署	交通官	栗 山 英 司	
6	茨城町生活改善クラブ連合会	会長	照 山 友 子	
7	茨城町観光協会	副会長	水 野 剛 治	
8	水戸地区交通安全協会茨城支部	支部長	木 村 利 男	
9	茨城町交通安全母の会	会長	山 口 美 知 子	
1 0	茨城町商工会青年部	部長	大須賀 真 寛	
1 1	茨城シクロクロス城里事務局	代表	田 辺 隆 文	
1 2	Bonne Chance (日本) Ussa Pavilly Balentin (フランス)	自転車競技選手	篠 原 輝 利	
1 3	茨城町	副町長	小 林 弘 文	

(2) 事務局

No	所属名	役職名	氏 名	備 考
1	町長公室	町長公室長	横 田 修 一	
2	町長公室地域政策課	課長	田 口 眞 一	
3	〃	課長補佐	海老澤 靖 範	
4	〃	係長	福 井 直 子	
5	〃	主事	櫻 井 輔	
6	都市建設部道路建設課	課長補佐	久保田 隆 弘	

4 配布資料

■茨城町自転車活用推進協議会委員名簿

■茨城町自転車活用推進協議会設置要綱

【資料1】 茨城町自転車活用推進計画の位置づけ（国・県等の動向）

【資料2-1】 茨城町の自転車利用環境の現状

【資料2-2】 茨城町の自転車活用状況調査について

【資料2-3】 茨城町の自転車に関わる現状と課題

【参考1】 全県におけるモデルルートの整備（いばらき自転車ネットワーク計画）

【参考2】 自転車活用状況調査の追加集計

【参考3】 上位・関連計画

【別紙1】 自転車の種類と使われ方

5 内容

1 開 会

【事務局】

定刻となりましたので、ただ今より第1回茨城町自転車活用推進協議会を開会いたします。

本日は、大変お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。

申し遅れましたが、私は、本日の司会進行を務めさせていただきます、町長公室 地域政策課 課長の田口でございます。どうぞよろしく願いいたします。

2 委嘱状交付

【事務局】

それでは、お手元でございます会議次第により、進めさせていただきます。

「会議次第2 委嘱状交付」でございます。本来であれば町長からひとりずつ交付するものでありますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会議時間の短縮を図らせていただき、あらかじめお手元に配布させていただいております。ご了承くださいますようお願い申し上げます。

続きまして、「会議次第3 町長あいさつ」でございます。茨城町長 小林宣夫よりごあいさつを申し上げます。

3 町長あいさつ

皆さんこんにちは。第1回の茨城町自転車活用推進協議会開催にあたりまして、ごあいさつ申し上げます。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、本協議会にご出席いただきまして誠にありがと

うございます。またこの度は、協議会の委員をお引き受けいただきまして、厚く御礼申し上げます。

さて、自転車の活用計画につきましては、平成29年5月に自転車活用推進法を制定し、その中で県や市町村の自転車活用推進計画の策定は努力義務として示されたところであります。

こうした状況の中、茨城県では観光施策の一環として、サイクルツーリズムの推進を掲げたいばらき自転車活用推進計画を策定しており、今年11日には県が中心となり、同町も参加するサイクルツーリズムの取り組みである大洗・ひたち海浜シーサイドルート利活用推進協議会が設立をされたところであります。また、本地域におきましても水戸市を中心として、広域連携による観光資源の掘り起こしとして自転車の活用について関心が高まっているところであります。

このような中、本町においてもサイクルツーリズムによる機運の高まりは、顕著に表れており、近年潤沼周辺を中心にサイクリングを楽しむ方が多く見られるようになってまいりました。

モノ消費からコト消費という現代において、自転車は公共交通に代わる移動手段となるとともに、観光振興においても有効な誘客の手段として、積極的に活用していくべきものと考えております。

さらにまた、高齢社会が到来している中で、人々の健康志向が急速に高まりつつあり、健康からの観点からも自転車の活用はますます高まるものと考えております。つきましては日常生活における自転車の利活用やサイクルツーリズムなど自転車に関わる多くの知見をお持ちの皆様へ、多くのご意見をいただきながら茨城町独自の自転車活用推進計画を策定いたしたく、皆様のご協力をお願いしたところであります。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

4 委員紹介

【事務局】

ここで町長におきましては、所用がありますので、退席とさせていただきます。

続きまして、「会議次第4 委員紹介」に移らせていただきます。

大変恐縮ですが、私の方からお手元の資料「茨城町自転車活用推進協議会委員名簿」に沿って読み上げさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

【資料読み上げ】

5 会長及び副会長の選出

【事務局】

お手元にあります資料を1ページめくっていただきまして、2枚目の資料、「茨城町自転車活用推進協議会設置要綱」をご覧ください。

第1条の設置でございますが、町の実情に応じた具体的な目標や施策等に関し、本計画を策定し推進していくため、本協議会を設置させていただいております。

第2条においては目的でございますが、本町の自転車活用推進計画を策定するにあたって、2点ござ

います。

1点としましては、町の実情に合った計画を策定するため、現状及び課題の整理を踏まえた基本的な方針等についてご協議いただく内容でございます。

2点目としましては、自転車ネットワーク計画の策定にあたっての協議でございます。自転車ネットワーク計画は、安全で快適な自転車通行空間を効果的、効率的に整備することを目的に、その路線の整備形態等を示した計画でございます。こちらにつきましては本計画に位置付けるものであり、当町における課題解決につながるような路線を選定していきたいものとしておりますので、こちらについてもご協議いただければと思います。以上が協議会設置の趣旨・目的でございます。

続きまして、「会長及び副会長の選出」でございますが、要綱第5条第1項の規定では、協議会に会長及び副会長を置くこととしております。また同条第2項において、会長は、委員の中から町長が委嘱することとしております。会長には、茨城大学人文社会科学部 現代社会学科 准教授 小原規宏委員に委嘱をさせていただいたところでございます。小原会長におかれましては、地誌学を専攻されており、茨城県のいばらき広域観光周遊ルート魅力増アクションプラン策定委員や、近隣市町村においては、笠間市の総合計画審議会会長、本町においては文化的施設整備建設検討委員会会長等、多くの委員を来歴されており、まちづくりに関する知見をお持ちの先生でございます。

それでは小原会長、お手数ですが会長席へご移動をお願いいたします。ここで、小原会長に、一言ごあいさつをお願いいたします。

【会長あいさつ】

会長に任命していただきました 茨城大学の小原と申します。

専門は地理学・地誌学で、地域の研究をしていまして、狭い意味で言うと特に地方また農山村の活性化ということで研究してきました。具体的に言うと、ドイツを参考にしながら、なぜドイツの農山村がきれいなのか、元気なのかを研究してきまして、その知見を茨城県に還元しながら茨城県の持続性を高めるような研究をしています。

まさにこの自転車活用推進計画というのは、この計画単体ではなく、とても波及効果があるもので、まさに今コロナの状況下で様々なリスク回避を含めて地域の多様性が重要になってくる中で、その一つのキーになってくれる、また未来に向かって福祉という点からも次の地域のありようを示してくれるものにとらえています。

ですので、是非皆さんにご協力いただいて、茨城町を次のステージに上げられるような計画をつくっていきたくと思います。よろしくをお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

続きまして、副会長の選出になります。要綱第5条第2項において、副会長は、会長が委員の中から指名した者をもって充てる規定でございますので、小原会長よりご指名をお願いいたします。

【会長】

それでは、事務局の方にあらかじめ私がお伝えしたということで、事務局からご紹介をお願いします。

【事務局】

それでは、事務局の方からご紹介させていただきます。副会長に、交通安全の分野で長らく活躍されており、平成28年度に水戸市において策定した自転車利用環境整備計画の審議会委員も来歴されております、茨城町交通安全母の会 会長の山口美知子委員を指名いたします。委員長よろしいでしょうか。

【会長】

はい、それでは山口委員をお願いします。

【事務局】

それでは山口副会長におかれましては、お手数ですが、副会長席へご移動をお願いいたします。

ここで、山口副会長に、一言ごあいさつをお願いいたします。

【副会長】

交通安全母の会で長らくお世話になっている山口と申します。今回は副会長ということで大変な役を仰せつかってしまいました。

今まで健康の方から会長命令で水戸地区での自転車利用環境整備に関わらせていただいて、金沢市から水戸市に移られた小林先生等いろんな方のお話を聞きながら、安全で安心なまちづくりに関わらせていただいています。

茨城町と水戸市では状況は異なるため色々あるとは思いますが、皆さんとがんばって住みよいまち、安全な自転車ルートをつくっていただければと思います。よろしくをお願いいたします。

6 議 事

【事務局】

それでは、「会議次第6 議事」に移りたいと思いますが、お手元に、本日の資料はございますでしょうか。不足等がございましたら、お声がけいただきたいと思います。

それでは、ここからの議事進行につきまして、当協議会設置要綱第6条の規定により、小原会長に

お願いしたいと思います。

小原会長，お願いいたします。

【会長】

それでは，早速議事に入りたいと思います。まずお手元の資料にありますように，まず議事（１）「茨城町自転車活用推進計画の位置づけ（国・県等の動向）」について事務局より説明をお願いいたします。

（１）茨城町自転車活用推進計画の位置づけ（国・県等の動向）【事務局より説明】

【会長】

現状ということでご説明いただきました。基本的に多くの委員が茨城町に住んでいる方あるいは町と関わっている方なので，知っている情報が多いとは思いますが，それぞれご専門の方がいらっしゃると思うので，事務局説明の補足などある方いらっしゃればお願いします。

【委員】

資料２－１の５ページの中で，木村家住宅の先に水戸電気鉄道の常陸長岡駅跡地があり，地域の歩く会で非常に好評でした。

あと，もうひとつ元陸軍航空通信学校跡地の石碑が残っています。駅跡と石碑の２か所を新たな観光地として活用できればと思っているので，ぜひ事務局で見てもらって検討いただき，ルートに加えてもらえると良いなという提案です。

【会長】

ご意見ありがとうございます。その他いかがでしょうか。文言あるいは体裁についてのご質問もあればお伺いしたいと思います。大丈夫でしょうか。県からの補足はありませんか。

【委員】

資料２－１の３ページですが，茨城町から他市町に通勤・通学等で移動している人が多く見られます。この人たちの交通手段が分かるデータはありますか。

【事務局】

次のアンケートの結果の中でご説明をさせていただければと思います。よろしいでしょうか。統計の数値が出ていないところがございますので，つぎのアンケートの結果での回答とさせていただければ

と思います。

【会長】

その他いかがでしょうか。今事務局よりご説明いただいた内容は非常に重要ですが、基礎データという形になります。本日は現状と課題の整理ということですが、それに向かってより詳細なデータを使った分析ということで、次の議事に移りたいと思います。

それでは続いて、茨城町の自転車に関わる現状と課題ということで、事務局からのご説明いただきたいと思います。これについては、皆様各ご専門からいらっしゃっている委員ですので、事務局からの説明の後に、それぞれコメントいただきたいと思っていますので、もう少しじっくり進めたいと思っています。

それでは、事務局の方から説明をお願いいたします。

(2) 茨城町の自転車に関わる現状と課題【事務局より説明】

【会長】

説明ありがとうございます。かなり詳細に分析されている内容だったと思います。それでは全般にご意見ありましたらお願いします。

皆様にご検討いただいている間に、先ほどの委員からご質問いただいたところいかがでしょうか。

【事務局】

交通分担の状況につきまして、学生のデータを申し上げますと、高校生バスの利用率は、22.3%となっております。また、先程事務局からご説明させていただいた内容となりますが、高校生の通学における交通手段といたしまして、自転車が32.6%、また自動車（自家用車）が30%といった内容がアンケートの結果出ているような状況でございます。

【会長】

ありがとうございます。このデータは特定の地区ごとのデータではないのですね。例えば桜の郷の状況であるとか、もう少し詳細な分析をしなければいけないのですね。委員いかがでしょうか。

【委員】

もしかしたら、水戸に近い人で通勤を車で県庁に来るというデータが出るかもしれない。もしそのようなデータがあれば、通勤を自転車に転換することも可能なのではと考えていました。

【会長】

ありがとうございます。桜の郷はどちらかというと県庁の南側の開発が進むにつれて住宅街が整備されています。もしかしたら職住近接の方がいるかもしれません。その方達の通勤・通学を自転車に切り替えることはやりやすいかもしれないです。自分でデータをとったわけではないですが、ハードルとして低いと考えています。

それではいかがでしょうか。今回の説明ではそれぞれ観光や健康といった分野に分けるのではなく、一般的に一つのセットにして説明していただきましたので、とても見やすくなっています。特に、資料2-3にまとめがあるので参考にして、ご質問でもご意見でも構いませんし、感想でも結構なので、それぞれ伺っていきたいと思います。では、県の委員からお願いします。

【委員】

安心して通行できる道路の整備が求められていると思いますけれども、道路については時代時代によって求められる構造、規格というのは変わってくると思っています。自転車だけの計画が重点化されてきたのはここ数年の話で、今後都市整備をしていく中においては、高規格道路等、市町村の計画が必要になってくるのかなと思います。

茨城町における現状と課題を拝聴した中で、自転車の利用というのは、二輪車も含めてですが、天候に左右されるものだと思います。観光業もそうですが、自転車については30年40年前ですと、磐梯山や軽井沢周辺もともとサイクリングの観光がありましたが、なかなか伸びなかったという背景があり、何か課題があったのかなと思います。過去の事業において何があったのかというところも学習しながら、ハード面の施策を検討しなければいけないなと思っています。

あと、自転車の利用として、シティサイクルからロードバイクと、非常にバラエティのある自転車が通り、さらに車も通るとなると、ある程度利用面を車の交通のような生活面と、観光面について、すみ分けなどが必要なのではと考えています。

【会長】

ありがとうございます。続いて、委員お願いします。

【委員】

感想と質問ですけれども、まず本日の議事の現状・課題とアンケートの資料がよくまとまっていて分かりやすいと思いました。

1点質問ですが、ある程度現状と課題の議論ができてからと思っていたのですが、第2回目の内容になり申し訳ないですが、資料2-3から今回の意見を踏まえて施策の体系をつくっていくということですが、そこが一番大切だと思います。茨城県では最初に説明いただいたが、4つの施策の体系があり、

それぞれ力を入れていますが、今はサイクルツーリズムに力を入れています。水戸市では現在計画の改定を進めていて、副会長からのお話もあったが様々な施策の中でも、安全安心に重点を置いています。

全体的に力を入れるということでも良いのですが、茨城町ではどのような施策体系をつくり、どこに力を入れるかというのは非常に重要だと思います。例えば、現状と課題のお話を聞いて感じたのは、今自転車の分担率は学生が非常に多く、事故も学生が多いので、学生を中心とした安全対策に力を入れていくか。あるいは、全体的に自転車の利用が少ない、先ほど通勤の話をしました、わりと茨城町の中での通勤が多いとともに、健康面に非常に興味のある方が多いので、そういった観点で自転車の需要を増やすとか。あるいは、観光入込客が少ないため、最初にサイクルツーリズムの話もあったがサイクルツーリズムに力を入れるなど、次回の議事かもしれないが、今時点で事務局が整理した施策体系や重点的な取り組みの考えがあれば教えてください。

【事務局】

具体的に観光面と生活面のどちらに比重を置くかという具体的な割合が決まっていますが、まず観光面については、町の課題のとらえ方として、本町において鉄道がないというところがあります。観光客が交通機関を利用して来られる方については、最寄りが石岡駅や水戸駅ということになるため、周遊型の観光や広域観光という観光を進めていくことによって観光客が増えていくという期待感がありますので、観光というところの割合が高いのかなととらえています。

あとは例えば健康面では、運動する場所がないという意見があり、場所の創出という観光面につながるハード整備をすることによって、生活面も補充していけるような形になると考えます。

交通安全についても、ソフト面及び当然ながらハード面での道路整備により、観光の対策を講じていく中で、生活面においても充足できるのかなと考えています。ですので、答えにはなっていないのですが、両面的に実施していきたいというところで現状としての回答になります。

【会長】

続いて委員、お願いします。

【委員】

私の方からは交通ルールについてですけれども、茨城町の自転車事故の話を少ししますと、ここ5年間で43件発生しています。そのうち、事故が一番多いのは高校生です。高校生は13件事故が発生し、全体の30%を占め、次に中学生8件で18%とあわせて48%と自転車事故全体の半分です。中学生と高校生が事故に遭っているという現状ですので、そういう方の交通事故防止について指導していただければ、より事故が少なくなり、皆さん安心して自転車に乗ってもらえるのではと思いますので、ぜひよろしく願いいたします。

【会長】

例えば、先ほどの委員からのご意見にも関連しますし、最後どのようにまとめていくかにもよりますが、例えば高校生の10年あるいは20年の間に移動する距離が伸びているのか、自転車を使う人が多くなっているのか、というようなデータが出ていたら、より具体的な施策につなぐことが可能なのではないかと考えます。例えば、今日は出ていませんでしたが、実際に高校生が何人いて、町の全体としての自転車保有率は10年、20年の間にどう変わってきたのかというデータがベースにあると、より戦略的に施策を講じることができるのではと思います。そういうデータはないと思われませんが、観察で結構なので次回までにぜひ事務局の方で話し合っただけであればと思います。

通学距離が伸びているかどうかを把握していますか。

【委員】

私の方では把握できていません。

【会長】

分かりました。では、続いて委員よろしくお願いします。

【委員】

私の方から直接は特にはないですけども、近くに中学校があり、朝は中学生と小学生が歩いてきます。しかし、負担を感じているところが多いです。道路もそんなに広くはなく、車利用時間が通学時間と重なってしまう時もあるため、十分注意しながら運転しています。

このような状況が起きてしまうため、ハード面ではないですが、時間帯によって車の通行を制限するなどの対策ができればと感じています。

私が住んでいるところは公共交通自体がないので、子どもたちが高校生の時は自転車で水戸市内まで通っていました。あとはバス停のところまで自転車で通って、バス利用もしていましたので、やはりこのような環境では自転車が必要だと思います。

現在自転車が家がないので申し訳ないですが、ただ健康など色々考えると、自転車を利用していくのはよいと思います。ただ環境を考えると、少し厳しいと思います。

桜の郷の方に通勤しているのですが、競技自転車に乗っている方をよく見かけます。桜の郷公園に車を停めて、朝に何台かで水戸医療センター周辺を走行するところを見かけます。水戸医療センター周辺は、茨城町の自転車コースとして紹介しているのでしょうか。

【事務局】

水戸医療センター周辺は、全く紹介していないところになります。

【委員】

桜の郷の通りは交通量が時間帯によっては多いですが、混雑時間を外すと結構閑散としているため、自転車に乗る方には合っている場所かなと思います。

【事務局】

桜の郷中央公園は、非常に新しい公園でトイレと自販機もありますので、快適な場所かなと思います。

【委員】

普通に子どもたちを遊ばせるような公園もあり、休憩することもできるので、そういったスポットをこれから茨城町にもつくれたらと思います。私の場合ですが、孫を遊ばせたくても安全に遊ばせることのできる場所がなかなかないものですから、そういった環境づくりも段々に必要になってくるのではないかと思います。

あと残念だったことは、サイクリストの皆さんにお土産が買われていないことです。茨城町は野菜などすごくおいしいので、ぜひ直売所などをご案内いただいて、たくさん茨城町の良い物をお買い求めただけたらと思います。

【会長】

ありがとうございます。あまりこういった研究視点は持たないようにしているのですが、桜の郷には、社会階層的に分析をすると環境にとっても意識が高い方がいらっしやったり、アーティスト・デザイナーがいらしたりしています。そういった観点も含め、ピンポイントで自転車を嫌いな人を好きにさせるのは難しいが、気づかせる、もともと潜在的に自転車が好きな人を自転車に乗せるということはできますから、そういうところでどンドンピンポイントに自転車を普及していく、交通ミックスということが非常に面白いかなと思います。

お土産は大きな野菜を担いで帰るのが大変ですので、自転車で買って帰りやすいものが良いかもしれません。

ありがとうございます。それでは続いて委員よろしく申し上げます。

【委員】

色々イベントをしています。先ほど委員が言った通り、なかなか観光が振るわず申し訳ないです。野菜の直売所や、しじみなどを販売する潤沼自然公園の中の売店や、民間の広浦直売所あいあいなどが

ありますが、なかなか誘客は難しいところです。

サイクリングロードで長岡から下石崎、大洗までありますが、非常に脆弱なので補強，できれば整備をしてもらって、特に長岡から涸沼前川，堤防沿いと大洗までありますが、距離が短いので、先ほど委員が言った通り、桜の郷の先の公園からずっと延ばしてもらおうと非常に良いと思います。桜の郷には大戸のサクラもあるので、できたら大洗までの間を早く整備して欲しいと思っています。

それから長岡大洗線が非常に脆弱であり、特に涸沼自然公園付近の下石崎の坂が非常にひどいので、今整備しているところだと思いますが、早くバイパス的な道路ができると誘客効果は大きいと思っています。

横の線ではなく、縦の線、先ほど言った勘十郎堀，小幡城跡，小幡北山埴輪製作遺跡公園，水戸浪士の毛塚，木村家住宅と、それから先ほどの駅跡地，石碑があるので，新たなルートを一本作っていただければ，帰りに役場あたりで休憩というのが良いかと思っています。

長岡の先がスーパー堤防になりましたので，もう少し整備されたら良いと思います。

【会長】

ありがとうございます。非常に具体的な提案ということでどうもありがとうございます。それでは続いて委員お願いいたします。

【委員】

委員が言われたようなことで内容は同じですが，町は通学利用が大体自転車の利用ですね。そういうところから，小学校では高学年あたりは交通指導をしています，中学生になるとまだ指導したことがありません。中学生などの指導を実施すると，交通マナーあたりが改善されるのではないかなと思います。

あと，環境整備をしていただけると，事故等少なくなるのではないかなと思います。私の方では子どもたちへの交通指導等行いますので，よろしくお願いします。

【会長】

ありがとうございます。一番基本的なところですね。なかなか道路の整備には時間がかかると思いますが，やはり日本は，先進国に比べるとどうしても整備が遅れてしまっていると思うので，ぜひ進めていただければと思います。

それでは続いて委員，よろしくお願いいたします。

【委員】

よろしくお願いいたします。3点ほど感想です。

私個人として自転車ではなく、オートバイが趣味ですが、5、6人でツーリングに行くと、10回に1回か2回は誰かのバイクが壊れます。古いバイクに乗ってはいるので仕方ないですけども、ロードバイクなど乗られている方は実際故障などないのかなということが気になっています。こういうところにサイクルショップであるとかサイクルサポートスポットというところに空気入れがあればいいという話もありましたが、簡単な工具の貸し出しができる、少しは何かが違うのかなとイメージしています。

あと、サイクルショップの場所がここにあるというのが分かれると違うのかなと感じています。

前年度まで町のPTAをやらせてもらっていた観点からですが、今回ロードバイクの話や通勤・通学について出ているが、ファミリー向けの話が出てきていないなと気になりました。お父さんが小さい子どもに三輪車や自転車を教える場所であるとか、ロードバイクがガンガン走っているエリアで小学校低学年の子どもと一緒に自転車に乗るのは、なかなか勇気のいることだと思います。また国道沿いも勇気がいるので、整備されることがもしあった時に、そういった面も入れていただくとPTAの会員さんの方からは町のお金を使って整備して、町外の人向けばかりで、観光・商工業の人しかメリットがないと言われることは町としてつらいと思いますので、そういった面にも力を入れていただければと思います。

高校生の問題で、うちの息子も高校1年生で水戸の高校に通っていますが、自転車を購入した際にふざけて「ヘルメットは買わなくていいのか？」と尋ねました。すると、息子は「学校で僕はいじめられたくない」と返事しました。学校でヘルメットを被りなさい、となれば中学校ではそうなっているわけですから被らないで通学すれば怒られますが、高校は中学校のようになっていないので、ヘルメットを被っていないのが常識になっています。その慣習を、茨城町だけでがんばって高校生ヘルメット被れ！という雰囲気に変えられないでしょうかというイメージを持ちました。以上3点、私なりの感想です。

【会長】

ありがとうございました。それでは委員お願いいたします。

【委員】

自転車は高校生から通学で使い、その後自転車競技を始めて今に至ります。自転車というのはご存じの通り一口に言っても、非常に多種多様な車種・乗り手にも様々な要望があり、ロードレーサーを持っているから全員が競技を目指しているわけでもなく、非常に細かく細分化でき、どこにターゲットを絞るかによって、施策が大きく変わってくると考えています。

私は日本の自転車競技のレベルを上げたいということと、健康志向でいう、通学・通勤に使っていただける幅広い自転車人口の増加を望んでいます。単純に言うと、ヨーロッパのオランダ・ドイツのよう

な自転車空間を、日本にもつくることができたら、という気持ちがございます。

先ほどお野菜の話がありましたけれども、自宅から自宅まで自転車だとお野菜を背中に背負っていくことは難しいので、小鶴にありますけれども、コロッケを食べるとかソフトクリームを食べるということはやらせていただいています。委員もそうですが、我々はほとんど毎日自転車に乗り、コロッケ屋なりコンビニで、毎日千円以上お金を落としていきます。だから単純に、こういった人が増えればお金は落ちます。野菜は、シクロクロス大会といった大会に来る方は車で来るので、しじみや野菜を買って帰れるので、そういった意味でもシクロクロス大会は何かしら貢献させていただけるのではと思います。大会一回につき500人前後いらっしやっていて、今年は年に2回やらせていただくので、単純に言うとな千人くらいになります。誘客という面ではメリットがあるのではなかろうかと思えます。

自転車全般に言えるのはハード面で、単純に道路の幅員があると安全です。しかし、今の日本の道路交通上は難しい。道路整備も誰をターゲットとするかですが、競技者というのはスピードが出ます。時速40キロでて、道路の幅員が欲しいため、町道は走らず、県道を走ります。ところが中学生・高校生はスピードが出ないので町道を走ります。

だから、今できる安全策は、簡単にはナビマークを付けることだと思います。町道であってもナビマークがあると、車との距離を1.5mと考えると、町道を走る車の方も少し気にしてくれるという風に思えます。町道こそ、ナビマークを付けていただきたいと思います。やはり安全というところでは、中高生向けの町道にナビマークを付けることが良いと思います。

通勤・通学あるいは健康増進というレベルの方たちを増やしたければ、自転車専用レーンをつくるしかないと思います。ただ、狭い日本では現状難しいですけれども、そういう意味ではサイクルツーリズムもありますがあれも自転車専用レーンとは違うので、難しいです。涸沼のサイクリングロードも、結局バードウォッチングの方と釣り客の方たちが歩いていて、非常にそこが難しいと思っています。先日走った時も、お互いに声を掛け合って譲り合いにはなっていますが、一歩間違えると接触事故という風な環境になります。サイクリングロードをPRして誘客すると、どうしてもそこの方とのバッティングということが出てくるのではないかと思います。

自転車を取り巻く、というのがどこをターゲットにするかで話す論点が変わってくるので、今回観光というところを先ほどお伺いしたので、観光というところでは大会としてはロードレース、シクロクロスのような大会をやらせていただくことによって観光につながる場所があると思います。

あと、ネームバリューが必要です。茨城町にぜひ行きたいという気持ちになっていただくことが必要で、そのためにはPRだと思います。そういう意味でも、自転車の大会が頻繁に茨城町で行われているという状況をつくっていただけると、茨城町にサイクリングに行ってみようかな、自転車天国だというところで人が集まってくると考えています。話は止まらないですが、以上にしたいと思います。

【会長】

ありがとうございました。それでは続いて委員お願いいたします。

【委員】

よろしくお願いいたします。先ほどの議論でたくさんの方がおっしゃっていましたが、僕もいま高校生ですので、高校生を代表して謝罪をしたいです。

常陸太田の方を向かって走っていたため水戸を通らざるを得ず、朝も早いがたくさん的高校生とすれ違いました。先ほどの委員からの確かな意見がありましたが、ヘルメットを着けている人を見たことがありません。宇都宮市などではヘルメットを着けている学生は多いが、茨城町ではヘルメットをつけるとダサイという風潮があり、その気持ちは僕も分かります。

でも、実際ヘルメットだけでなくイヤホンだったり、ぼくも車道を走ることが多いですが、高校生は歩道を走っていたり、道路右側を走っていたり、急に車道に入ってきたり、危ないし、運転免許を持っていないですが運転している方の立場からしても邪魔だと思います。しかし、例えば信号が点滅したら止まるようにするとか、僕自身でも危なくないように走ることに気を付けていて、自転車が気を付けるべきことも多いが、車にも気を付けてほしいと思うところがあります。

茨城県に限らず日本で走っていると、急に追い抜きざまに左から車が曲がってきたり、ウィンカーを出してからすぐ左折、あおり運転など、自転車が邪魔なのは分かりますが、もう少し自転車に配慮してほしいと思います。実際事故など起きてしまったら、車の方にも被害がありますし、僕たちにも自転車にも大きな被害が生じます。僕たち競技選手も気を付けますが、車の方もある程度の配慮をしてほしいと思います。

先ほど委員から工具の話があったように、以前僕も茨城町での話し合いの際、サイクルサポートスポットに常設する工具はどういったものが良いか、提案させてもらいました。工具はコンビニなど置いてある場所もありますが、ある分には良いが、実際どこか故障した時に一人で修理できるかという、できない人が多いと思います。特にサイクリストはロードバイクが多いというアンケート結果もありましたが、パンクして自分で直すための指導者がいないというのは確かにどうなのか、という疑問があります。

僕は常にチューブとポンプを持っているので、自分で修理しますが、持っていないとか予備のものも壊れた時に、茨城町を利用して、修理できるような環境をつくっていかれたらと思っています。

資料2-3の緑の自転車利用環境にかかわる課題で、健康の面で「運動する場所がない」という課題があるが、僕としてはすごく疑問で、運動する場所しかないと思っています。場所がないというのは、東京みたいにビルなどがいっぱいあり、住宅街でどうしようもない状況を言うのであって、町内は走る場所がそこら中にあります。運動する場所がないというのは言い訳で、課題として現状出ているのでどうするかというのはありますが、僕個人の意見としては、運動する場所がないという人は、疲れるから運動をしないのだと思います。

あとシクロクロスの件ですが、お土産の購入者が少ないという現状があるが、お金が落ちるという面
でいうと、シクロクロスの出展ブースをもっともっと増やしても良いのでは、改善してほしいと思っ
ています。

資料2-2の17ページのアンケート結果において、ミニストップ北側の△印で「交通量が多く危
険」、「坂道発進危険」とあります。確かにそのような状況ですが、現地は片側一車線で自転車が走る道
は狭いため、自転車の後ろを車が並んでくれる時もありますが、追い越しをされるとすごく怖いです。
さらに、左側を走っているとガードレール脇にある草が倒れています。個人的な意見ですが、通る度に
怖いため、あの草を少しだけ刈ってほしいです。結構多くのサイクリストをあの道で見かけるので、恐
らく草を刈って環境が改善されることによって、一部だけでも安全になると思いますので、よろしくお
願いいたします。

【会長】

ありがとうございました。話しづらくなってしまったかもしれませんが、委員お願いいたします。

【委員】

意見を言うというよりも、皆様の意見を聞くという立場でございます。本日はいろんなご意見いただ
きまして、本当にありがとうございます。町としてもできるだけ町独自の良い計画をつくっていきたく
と思っております。

今日は現状と課題の説明をさせていただいて、次回は具体的な対策をご検討していきます。ぜひとも
茨城町の魅力化のため、本当に忌憚のないご意見いただければと思います。町に対して大変きつい意見
もあるかと思いますが、遠慮なく言っていただければ大変ありがたく思います。

【会長】

ありがとうございました。だいぶ意見がありましたけれども、委員からはいかがですか。

【委員】

これまで私ども神栖市・笠間市・那珂市の方でやって来ていて、同じような話になっていて、どこを
ターゲットとするのかというところですか。大きくは資料2-3にある安全とツーリズムですが、そこか
ら細かくは競技者の練習とか周遊など、どの市町村も異なります。茨城町の場合、例えば涸沼をうまく
活用する手はどうでしょうか。私も走りますが、バードウォッチングのお客さんもいたりして、あの辺
りは何かやらないとサイクリストが増えていくと事故の可能性もあります。

質問ですが、資料2-2の16ページにサイクリストの交通量データがあります。結構良いデータ
だと思っていて、どこを走っているか示しています。こちらに関して、隣接の市町村の大洗・笠間市と

の横のつながりを強化してほしいと思います。ひたちなか市のひたち海浜公園では中で乗れますが、そういう方が外に出て広域に訪れてもらえれば、と県では現在考えています。できれば県でリゾート構想というものがあり、そういうものを含めてぜひ広域的な計画を入れていただければと思います。

水戸市で自転車に乗っている人が多いですので、水戸から茨城町は比較的近く、県庁からだと同様に周遊して40kmくらいでちょうどいい距離です。茨城町はお客さんを引き込む能力は非常にあり、他の市町村と比べても可能性があるのではと思います。これからサイクリングルートと目標設定に進むと思いますが、よろしく願いいたします。

【会長】

ありがとうございます。副会長からは何かありますか。

【副会長】

私の方からは交通安全ということ安全面に対して、パトロールで歩くのですが、茨城町は本当に道路が悪いです。本当に太い道路がなくて、自転車は白線の外側を走ってくださいと言いますが、そうすると道路から落ちこちてしまうような、そういう道路がほとんどです。とにかく自転車に対しては厳しい町という気がしています。

中央線がある道路が少なく、30キロでしか走れない道路が多いです。青葉中学校の子どもたちが朝晩8名ずつくらい通りますが、田舎でほとんど通らないことは良いですが、夕方になると真っ暗になります。子どもたちの安全面、矢羽根でもなんでも引けるような道路であれば、必然的に観光面でも使える道路になってきます。ですから、子どもたちが安全に乗れる道路は誰が乗っても安全だと思いで、その両面を考えて作成していただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

【会長】

ありがとうございました。少し時間を押してしまったのですが、どうしても一回目で盛り上げておきたかったので時間を延長させていただきました。

最後に、私の方から少し意見を述べさせていただきます。大体町の全体像は分かってきた状況で、それぞれの安全といった機能をどのようなバランスで取り組むのかということが次回に向けて大事になると思います。

私の専門の教育と副会長のご意見に上乘せする形になりますが、ぜひ自転車の教育に力を入れてもらいたいと思います。というのは、頭ごなしの教育ではありません。私は昔、子どもの時自転車の講習会に行くと、自転車を嫌いさせられている気がしました。それは、命の教育ですから厳しくはやらないといけないと思いますが、もう茨城大学の教育もそうですが、頭から叱るあるいは弟子を育てるという教育というのではなく、いかに好きな子を育てるかということが大事になっています。ですから、茨城

町の子どもには安全に安心に乗れる、様々な種類がありますけれども、そういった自転車好きを育てられるような教育やイベントといったものをぜひ充実させていっていただきたい、またそれを計画に少し盛り込んでいただければと思います。

それでは今日のご意見を伺うということでしたので、それを踏まえて次回に向けて計画の案をつくっていただければと思います。すみません、少し長くなってしまいましたが、ご協力ありがとうございました。事務局の方からその他ありますでしょうか。

7 その他

【事務局】

それでは、最後に「会議次第7 その他」でございますが、次回の協議会についてご連絡いたします。

日程につきましては、1月中旬頃の開催を予定しております。また、内容といたしましては、本日の協議を踏まえた本計画の素案を提示させていただくことを予定しております。正式な日程等が決まり次第、通知をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

8 閉会

【事務局】

それでは、以上をもちまして、第1回茨城町自転車活用推進協議会を閉会させていただきます。お疲れ様でした。